

# 山動かした開拓者

## 後輩ら「遺志を継ぐ」

女性の政治家に勇気を与え、憲法にこだわり続けた元社民党党首の土井たか子さんが亡くなった。85歳だった。衆院議長だった時に起きた阪神大震災では被災者に寄り添い、支援法の実現に尽力した。「遺志を引き継ぎたい」。生前を知る人たちは「おたかさん」の死を悼み、誓った。

## 土井たか子さん死去

「女性政治家の道を切り開いてくれた」。民主党衆院議員の辻元清美さん(54)は土井さんの死去を受け語った。

辻元さんは社民党の党首だった土井さんから「市民運動出身の議員に」と求められて1996年の衆院選に立候補し、初当選。「土井チルドレン」と呼ばれ、土井さんの背中を見て育った。「海外の首脳も『タカコ・ドイ』と言えは

わかった。日本にも女性議員がいることを身をもって示していた」。辻元さんは言う。

「道しるべが消えてしまったようなだが、バトンを受け継いで頑張らなあかん」とも話す辻元さん。28日に地元の大府島本町であった集会で「私が国会議員を続けているのも土井さんがあってこそ。生みの親であり、政治の母」と語った。93年の7党1会派による

連立政権、94年の自社さ連立に社民党と参加した新党さきがけ元代表の武村正義さん(80)。会食の席でいつも相手に上座を薦め、気遣いしながら注文をとる土井さんの姿を覚えている。

「四方八方に気配りする上品な女性。マイクを握る街頭の姿とは対照的だった」と振り返る。元沖縄県知事の大田昌秀さん(89)は2001年に社民党から参院選比例区に立

## 阪神大震災の支援尽力■病床で憲法心配

土井さんは兵庫県の西宮市や芦屋市などを地盤に、1969年から衆院で12回の当選を重ねた。熱烈的なプロ野球・阪神タイガースのファンでもあった。

「土井チルドレン」と呼ばれた元社民党衆院議員の一人で、兵庫県宝塚市長の

中川智子さん(67)は「男性社会の政治の世界に登場し、女性は勇気と希望をいただいた。巨星逝く、この思いです」と目に涙を浮かべた。

30年余りにわたって土井さんの秘書を務めた五島昌子さん(76)によると、政界引退後の2009年8月に郷里の神戸市へ戻り、姉と2人で暮らしていた。3年前に自宅で転んで大腿骨を折り、入退院を繰り返した。

昨年末ごろから入院したままになり、今春から体力が落ちていた。病床でも政治を心配し、「憲法が危ない。動けず腹立たしい」と話していたという。

95年の阪神大震災で被災した世帯への現金給付を認めた「被災者生活再建支援法」。法案の成立を求めて活動した市民団体の事務局長、山村雅治さん(61)芦屋市は「土井さんの存在

なしに法の成立はなかった」と振り返った。山村さんは96年、作家の故・小田実さんとともに東京の衆院議員会館で土井さんと面会。土井さんは「衆院議長だから旗は振れないけれど」と言いながら、芦屋市であった集会にも駆けつけた。

山村さんは「平和を大切ににし、弱者の立場に立ち続ける政治家だった。寂しい」と惜しんだ。

「時代を画す言葉になった。いま元氣だったら、安倍政権を絶対に許せない」と、全国で訴えて回っているでしょう。

## 護憲派の

改憲への動きに危機感を持つ人たちも「護憲のシンボル」の死と向き合った。大阪市の「とめよう改憲！おおさかネットワーク」共同代表の中北龍太郎さん(67)は、土井さんと20年以上の付き合いがあった。「憲法に対してはとどろけるような情熱を持っていた。庶民の生活のために憲法を生かそうとした政治家だった」と振り返ったうえ

## 四十九日瘞

### 広島土砂災害 犠

広島市で起きた大規模土砂災害の犠牲者のうち10人の四十九日法要が28日、地元の寺で営まれた。遺族ら約100人が参列し、祈りを捧げた。

法要があったのは安佐南区八木4丁目の浄業寺。住職による読経の中、遺族らは遺影の前で焼香した。

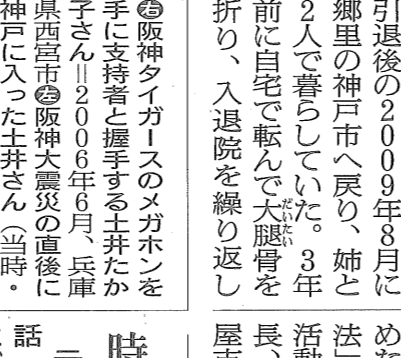
八木3丁目の自宅で亡くなった西山俊彦さん(53)の伯父塚井数馬さん(89)は「自然の力にはかなわないが、やりきれない」と言葉詰まらせた。親族らによ

## 逸ノ城へ 母校のエール

### 相撲留学

28日に千秋楽を迎えた大相撲秋場所、100年ぶりの新入幕場所での優勝を逃した逸ノ城。相撲留学していた鳥取城北高校(鳥取市)で見守った恩師や後輩からは「惜しかった」「これだから楽しみ」との声が上がった。

鳥取城北高校近くの相撲部寮。逸ノ城が安美錦に押し出しで勝つと、テレビの前で声援を送っていたOBや後輩ら約20人が「さあ、もう一番だ」といぶきを突き上げた。結びの一番、白鵬が勝って1敗を守り、2敗だった逸ノ城との優勝決定戦が実現しないことが決ま



土井たか子さんの歩み	
1928年11月	神戸市に生まれる
51	同志社大学法学部卒業
69 12月	旧衆院兵庫2区に日本社会党から出馬し初当選
86 9月	社会党委員長に就任。日本の大政党では初の女性党首に
89 7月	消費税、リクルート問題などが争点になった参院選で「マドンナ旋風」「おたかさんブーム」を巻き起こして大勝し与野党逆転を実現。選挙結果についてのコメント「山が動いた」が流行語に
91 7月	統一地方選敗北の責任をとって委員長を辞任
93 8月	細川護熙非自民連立政権の発足を受け、女性として憲政史上初の衆議院議長に就任
96 1月	社会党から社民党に改名
9月	旧民主党に半数以上の議員が流れ、組織立て直しのため再び社民党党首に
2003 7月	秘書給与詐取問題で土井氏の元秘書が逮捕
11月	衆院選敗北の責任をとって社民党党首を辞任
05 9月	衆院選で落選。その後も立候補を固辞し、事実上の政界引退
06 2月	社民党名誉党首に
14 9月	兵庫県内の病院で死去。85歳